とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	8月

1，５歳児活動テーマ

＜テーマ＞

５歳児・・・シソは食べることができるの？

＜テーマ設定理由＞

梅干し作りで使用したシソの葉を使った活動をした。子ども達から「これは梅干しみたいな匂いがするね」「食べることができるのか」などという意見が出たので今回の活動を行った。

2，活動スケジュール

①梅干しができると同時にシソの葉を取り出し日干しする。（広げて全体が乾くまで）
②乾いたシソの葉をすりこぎなどで細かくする。ご飯にかけて食べる。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

シソの葉、乾燥させるためのネット、オーブンシート、
フードチョッパー、すりこぎなど（乾燥させるため晴れている日！）

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

・シソの葉のにおいや色などをかいだり見たりする。
・広げて乾かす。（二週間程度）
・乾いたシソをフードチョッパーで小さくし、さらにすりこぎで細かくする。（どっちを使うとより細かくなるかを経験し知る。）
・温かいご飯に自分でふりかけ食べる。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関り＞

梅干し作りで使用したシソの葉を取り出し、広げて網に入れ２週間ほど干す。干していると梅の香りがして「おいしそうな匂い～いつたべられるの？」と嬉しそうにしていた。

十分に乾いたシソの葉はフードチョッパーやすりこぎを使用して細かくしていく。この作業が子どもたちは一番熱中しており、もっとやりたいもっとやりたいと口々に言っていた。集中している子どもは１０分以上楽しんでおりシソのいい匂いも喜んでいた。「早くご飯にかけたい」と楽しみにしていた。

「いただきます」
食べ始めると、子どもたちから「ゆかりになるまでってすごく時間がかかるんだね」という声や「頑張って作ったからすごくおいしい」という声が聞こえてくる。

5，振り返り

乾かしているときから「ちょっと食べてみたい」などという言葉が聞こえとても興味を持っていた子どもたち。出来上がるまでに時間がかかることも経験を通して知ることができ、全員でおいしく食べることができた。活動を通してゆかりができるまでこんなに手間がかかることを改めて子どもたちとともに知ることができ、「食べることは生きること、おいしい食事に感謝する気持ち」を改めて感じることができた活動であった。